

1ST YEAR

看護師になるための基礎を築く

「食と健康」や「人体機能」について看護の基礎を学び、看護師に必要な知識や技術のベースを固めます。

2ND YEAR

さらに知識を深め、 実習を通して専門性を高める

成人、小児などさまざまな対象を取り巻く環境についての理解を深めます。さらに、得た知識を活用し、確実に修得するための実習や実験を行います。

3RD YEAR

さまざまな状況に対応した看護を学ぶ

学内・校外実習、臨地実習、発展的な実習を通して、看護師の業務を体験し、実践力を養います。

4TH YEAR

国家試験に向けて4年間を総括

これまでの学びの総まとめとして、卒業研究を進めると同時に、看護師国家試験に向けての学修を行います。

CURRICULUM カリキュラム

全学共通科目

【人間形成科目】■建学のこころ ■ジェンダー論 ■キャリア入門

【一般教育科目】■哲学の方法 ■心のしくみ ■文学の表現と鑑賞 ■歴史に学ぶ ■国際事情 ■日本国憲法

【外国語科目】■Basic English 1・2 ■Advanced English 1・2 ■総合英語 A-1・2 ■総合英語 B-1・2 ■初級フランス語 1・2 ■中級フランス語 ■初級中国語 1・2 ■中級中国語

■くらしの経済 ■生活と地理 ■数学の世界 ■一般化学 ■生命のしくみ ■生活の物理 ■地球環境と人間 ■初年次セミナー ■初年次演習

【芸術科目】■音楽 ■美術 ■書道

【情報・表現科目】■情報処理演習 1・2 ■日本語表現法 1・2

【体育・健康科目】■健康科学 ■スポーツ 1・2

基礎関連科目（健康科学部共通科目）

■健康科学概論

■基礎化学（有機化学を含む）

■基礎生物学

■情報処理概論

■基礎統計処理

看護基礎関連科目

【健康と食】
■口腔健康管理学
■栄養学（生化学を含む）

【健康と心】
■人間関係論
■コミュニケーション論

【健康と支援】
■生活と環境
■女性の健康科学
■医療関係法

【人体の構造と機能】
■人体構造・人体機能学Ⅰ・Ⅱ

【疾病の成り立ちと回復促進】
■病理／感染症学
■臨床薬理学

【健康と心】
■臨床心理学

【健康と食】
■食と健康
■栄養教育論

【健康と支援】
■社会福祉
■公衆衛生学
■保健統計学

【疾病の成り立ちと回復促進】
■病態と治療（疾病論）Ⅰ 循環・呼吸・消化器
■病態と治療（疾病論）Ⅱ 腎・泌尿器・内分泌・代謝・造血
■病態と治療（疾病論）Ⅲ 脳神経・運動・リハ・放射
■病態と治療（疾病論）Ⅳ 産婦・小児・精神

【健康と支援】
■保健医療福祉行政論
■疫学

専門科目

【基礎看護学】
■看護学概論
■看護倫理・生命倫理Ⅰ
■フィジカルアセスメント（看護生理学を含む）
■基礎看護技術演習Ⅰ
■基礎看護技術
■基礎看護技術演習Ⅱ
■日常生活援助技術
■基礎看護学実習Ⅰ

……………海外研修（欧州研修）……………

【地域・在宅看護学】
■地域看護学概論
■地域ふれあい実習

【老年看護学】
■老年看護学概論

【基礎看護学】
■看護過程
■基礎看護技術演習Ⅲ
■基礎看護学実習Ⅱ
診療援助技術

【地域・在宅看護学】
■保健行動論
■在宅看護概論

【成人看護学】
■成人看護学概論
■成人慢性期看護援助論Ⅰ
■成人急性期看護援助論Ⅰ

【小児看護学】
■小児看護学概論
■小児看護援助論Ⅰ

【母性看護学】
■母性看護学概論
■母性看護援助論Ⅰ

【老年看護学】
■老年看護学概論
■老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ

【精神看護学】
■精神看護学概論
■精神看護援助論Ⅰ

【学科関連携科目】
■ライフステージ栄養学Ⅰ・Ⅱ

【公衆衛生看護学】
■公衆衛生看護学概論
■公衆衛生看護活動展開論Ⅰ

【地域・在宅看護学】
■地域・在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ

【成人看護学】
■成人慢性期看護援助論Ⅱ
■成人急性期看護援助論Ⅱ
■成人慢性期看護学実習
■成人急性期看護学実習

【小児看護学】
■小児看護援助論Ⅱ
■小児看護学実習

【母性看護学】
■母性看護援助論Ⅱ
■母性看護学実習

【老年看護学】
■老年看護学実習

【精神看護学】
■精神看護援助論Ⅱ
■精神看護学実習

【看護の統合と実践】
■看護管理

■医療安全
■緩和ケア論
■認知症看護援助論
■看護学研究方法論

【公衆衛生看護学】
■公衆衛生看護活動展開論Ⅱ
■公衆衛生看護援助論Ⅰ・Ⅱ

【学科関連携科目】
■臨床栄養学

【基礎看護学】
■看護倫理・生命倫理Ⅱ

【地域・在宅看護学】
■地域・在宅看護実習

【母性看護学】
■母性看護学実習

【看護の統合と実践】
■災害看護論
■国際看護論

■家族看護論
■チーム医療連携論
■看護学研究ゼミナール（卒論）
■健康科学特論
■看護の統合と実践実習

【公衆衛生看護学】
■公衆衛生看護管理論
■公衆衛生看護援助論Ⅲ・Ⅳ
■公衆衛生看護実習Ⅰ・Ⅱ

■ は本学の特徴的な科目です。 ■ は卒業必須科目、■ は選択科目。カリキュラムは変更する場合があります。

PICK UP カリキュラム



PICK UP ①

フィジカルアセスメント

フィジカルアセスメントとは、患者さんの訴えを聞き、情報収集を行い、身体機能を評価することです。問診とフィジカルイグザミネーション（視診、触診、打診、聴診）の基本を学修し、その解釈について理解を深めます。



PICK UP ②

母性看護援助論

妊娠・分娩・産褥期にある女性と、胎児期を含む新生児期にある母子の生理的・心理的・社会的な特徴を学び、ウェルネスをめざした看護援助を提供できるように基本的な知識・技術・態度を修得します。



PICK UP ③

地域・在宅看護援助論

在宅療養者の居宅への訪問看護実習に向けて、療養者の生活をイメージし、家庭環境への配慮や家庭で準備できるものを活用した看護技術を修得します。

STUDENTS' VOICE 在学生の声

実習や先生の個別サポートで 理想の看護師をめざす

小児看護の実習が心に残っています。病院と幼稚園の実習で同じ年頃の子どもと関わることとなり、ベッドで病気や障がいと闘っている子どもも、健やかに成長していたら幼稚園で駆け回るほど元気だったかもしれないと健康の重要性を改めて認識しました。看護師になるにはまだまだ勉強が必要ですが、アドバイザーの先生が個別で丁寧にサポートしてくださるので心強いです。

3年 川下 莉奈さん
（愛知県立天白高等学校 出身）



グループワークを通じて コミュニケーション力も向上

授業はグループワークが中心です。毎回ランダムにグループが構成されるのでさまざまな学生と会話を交わすことができ、すぐに距離が縮まります。医療職に求められる、相手を尊重しながら自分の意見を伝えるスキルも身につきます。教科書で学ぶだけではなく人体解剖見学実習の授業もあり、一歩ずつ看護師の夢に近づいているのを感じます。これからも友人と支え合いながら知識と経験を重ねていきます。

3年 牧 夏帆さん
（愛知県立豊明高等学校 出身）

